



弓削高等学校 <https://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>



みんな笑顔の一日！  
弓削高運動会開催！



みんな笑顔の運動会！

5月16日、令和8年度運動会を開催しました。快晴のもと、「双極共鳴～紅と蒼 響き合う魂～」のもと、紅鷹・青龍が熱戦を繰り上げました。



競技・応援・アーチ・総合の4冠をかけ、生徒たちは全力で競い合いました。どの競技も接戦となり、会場は大きな歓声と拍手に包まれました。応援合戦では練習の成果が発揮され、統率の取れた動きと力強い声が響きました。アーチも工夫が凝らされ、遠くから見ても迫力ある仕上がりでした。終了後には涙を流す生徒も見られ、仲間とともに努力を重ねた日々がかけがえのない思い出となりました。多くの皆さまにご来場いただき、温かい応援をいただきました。最後まで見守り応援してくださいました皆さまのおかげで生徒たちにとって最高の一日となりました。

き、温かい応援をいただきました。最後まで見守り応援してくださいました皆さまのおかげで生徒たちにとって最高の一日となりました。

第1回生徒総会

弓削高校では年に2回生徒総会を行っており、5月19日に第1回生徒総会が行われました。



総会では生徒と教員から出された議題についてグループに分かれて話し合いを行いました。教員も参加し、学年や立場をこえて活発な意見交換が行われました。生徒と教員がともに学校生活について考え、よりよい弓削高校をつくっていきます。

相撲と花 ～日本の文化活動を楽しむ～

英会話教室

弓削 19:30～ 弓削地域交流センター  
生名 11:00～ 生名3分団集会所  
岩城 19:30～ 岩城総合支所庁舎



最近、初めて相撲観戦に行きました。相撲は日本の伝統文化を深く感じられる貴重な経験でした。想像していたものとは違って、それがさらに興味深く感じられました。特に印象深かったのは、「よいしょ」という掛け声。試合の前に力士たちが四股を踏むと、観客もリズムを合わせ「よいしょ」と声をかけていました。私は普段、重い物を持ち上げる時に「この言葉を聞いていましたが、今回初めて、その言葉が日本の伝統文化や相撲と深く関係していることに気がきました。また、観客の中から何人かが選ばれ、力士たち

と実際に相撲を取ったりする場面もみられました。残念ながら私は選ばれませんでした。次回また挑戦してみたいと思います。質問コーナーで、日本以外にも相撲協会や団体があるのか聞きました。力士によると、まだそれほど多くの相撲団体はなく、アメリカをはじめとする海外出身の選手が日本で修行し、力士になることもあるそうです。



相撲観戦の後、ロープウェイに乗って神戸布引ハーブ園に行きました。最初は、花を見ることに興味がないと思っていましたが、さまざまな種類の花があることに驚き、次第にその魅力を楽しめるようになり、とても楽しい体

験になりました。また、園内の雰囲気や海外の古風な庭園のようなスタイルになっていたことも興味深かったです。特に、ピオラとナスタチウムの花がとても印象に残りました(写真参照)。

今回の経験で、日本の伝統文化だけでなく、自然や景観の美しさにも触れることができました。私は今から次の旅や体験を楽しみにしています。

私が送った写真は、力士たちが小さな子どもたちと楽しく相撲を取っている様子と、神戸布引ハーブ園で見た花々の写真です。



岩城地区担当  
ケイティ・クリストファー・トーマス

弓削商船高等専門学校 <https://www.yuge.ac.jp/>

台湾・高雄科技大学との国際交流を実施『御風』初来航

高雄科技大学と国際交流を実施

5月13日(水)、台湾の国立高雄科技大学(学生27,438人、教員864人を擁する台湾最大の科学技術大学)との国際交流(高雄技科大学学生147名、教授5名参加)を実施し、商船学科5年生を中心に本校から30名の学生が参加しました。本交流は、国立高等専門学校機構と包括的学術交流協定を締結している国立高雄科技大学が練習船「御風(WIND RIDER)」(9,680総トン、全長114m、幅21m、定員250人)で松山港へ初寄港する機会に合わせて実施しました。

参加学生は、船内説明と見学の後、昼食の場でも積極的に学生同士の交流を深めていました。

「船内にシミュレーターやトレーニングルーム、シアターがあり、設備がどれも大規模で整備されていることに驚いた」「連絡先を交換し、初めて海外に友人ができてうれしい」などの感想があり、大変貴重な経験となりました。



商船高専生のための仕事研究セミナーを開催

5月16日(土)、本校商船学科の1～5年生、広島商船および大島商船の商船学科4・5年生が参加し、112社の企業から説明を受けました。

学生からは、「業界や職種への理解が深まった」「企業の方々と対話を通じて、適性や興味について考えるよいきっかけになった」などの感想がありました。



★オープンキャンパス開催

7/11・12 商船学科  
7/18・19 創造工学科  
情報工学科  
申込受付中

わたしの 上島旅

— 第47回 —

今月の旅人

菊川 凌太 (神奈川県在住)



ゆめしま海道を知ったきっかけはSNSで、4つの島が橋でつながっていて、信号もトンネルもなく、交通量が少なく、ブルーラインが引かれていて、絶景を望めるという特徴に、とても興味を惹かれました。

2日間で4つの島を一周し、3日目は岩城島と弓削島の未走破ルートを周りました。

ついペダルを漕ぐ足を止めてしまうほど、息を呑む絶景ばかりで、レンタル自転車の返却時刻が間近

に迫って返却する毎日でした。

橋上からの視界が開けた景色、到達するまでの努力が報われる積善山と久司山の山頂から望む360度の大パノラマ、佐島で秘境のような場所に位置するUターンブルーラインに到達した時の喜びと浜辺からの絶景は、特に印象深く残っています。海沿いや山の中で角を曲がったり、坂を上りきったり、下りきったり、またはその途中で自分の位置が移動にもなって変わるたびに、見える景

色や見え方が変わることは当然ですが、なにか特別なことのように感じました。これは私が上島町に初めて訪れたり、町の景色を見慣れてないからこそその感覚だと思っています。

またいつか再訪する際は、各島の未走破ルートを周りながら、いろいろなお店や施設に立ち寄ってみたいと考えています。

上島町観光協会

KAMIJIMA TOURISM ASSOCIATION

☎0897-72-9277

